

平成 30 年度 第2回 八百津町地域公共交通協議会(会議要旨)

日 時	平成 30 年 8 月 30 日(木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
場 所	八百津町ファミリーセンター2 階講義室
出席者	会長、協議会委員13人、代理委員3人、事務局 6 人
内 容	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 委員の変更</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)八百津町の地域特性と既存公共交通の現状把握</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1)移動実態及びニーズの把握結果(速報値)</p> <p>(2)その他 地域懇談会について</p>
主な質疑応答	<p>3. 報告事項</p> <p>(1)八百津町の地域特性と既存公共交通の現状把握 (意見・質問等なし)</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1)移動実態及びニーズの把握結果(速報値)</p> <p>(委員) 資料9ページについて、目的地等はわかるのか。それがないと現在との比較ができない。</p> <p>→(事務局) 資料には掲載していないが、アンケートで目的地や移動の時間等聞いており、実際にルートを検討する際に参考にできるデータになっている。</p> <p>(委員) 免許返納について、返納予定の年齢や返納理由などはわかるのか。</p> <p>(委員) 返納したい人はたくさんいるが、現実にはバス停が遠いなど難しい。また、家族も高齢で運転が危険であり返納してほしいと思っているが、返納した後のことを考えるときつくは言えない状況である。</p> <p>→(事務局) 年齢はアンケートで聞いている。理由についてまでは聞いていないので、今後住民に確認する機会があれば確認していきたい。</p> <p>(委員) YAO バスについては、学生が多いと乗り切れないことがあるということであるがどう対応しているのか。また時間帯でも見る必要がある。</p> <p>→(事務局) 高校のヒアリングで、毎年4月は本数の関係で集中するが、学年ごとに車両を変えるなどの対応をしていると聞いている。また、春以外の時期は問題なく乗ってこれるとのこと。</p> <p>(委員) 観光アンケートについて、どこから来てどこに行くのかがわからないと関連性が出てこない。</p> <p>→(事務局) 他に立ち寄るところはアンケートで聞いている。</p> <p>(委員) 自分が住んでいる地区ではバスが4便あるが、日中は殆ど空の状態で走っている。それを改善するためには、バス停から奥の地域をどうつないでいくかなど解決していくと利用者は増えていくのではないかと。</p>

(2) その他 地域懇談会について

(委員) 地域懇談会での検討テーマのうち、特に 4 番目と 5 番目は重要なことであるが、地域によって状況が違うということで、東部の山間部と手前側では少し検討が変わってくる。また、人がたくさんいるところでは身近に使ってもらい、山の方はどう維持していくかということを考えないといけないので、地域ごとに説明をしていただければと思う。

(委員) 懇談会はどのような人に声掛けしているのか。

→(事務局) 各地区の自治会長、PTA 役員、民生児童委員、福祉協力員、障がい者協会会長、老人クラブ会長、保健福祉推進協議会、町議会議員、小・中学校へ案内をしている。

(委員) 一般の方が興味を持ってもらえるような周知をしてほしい。

→(事務局) 改めて周知に努める。

(委員) 懇談会には一般の方が一人でも多く来て発言してもらいたい。アンケートについては、8 割位が自動車で移動しているので、自由にあちこち行くことのできる人の意見が多いと思われるので、そのあたりを加味して懇談会を行っていかないといけない。

→(事務局) 地域懇談会は夜に実施するため、移動に困っている人が懇談会に来られるかも検討し、懇談会とは別に高齢者のサロンやゲートボールをしている人に直接話を聞くことも検討している。

その他の意見

(委員) 網形成計画はまちづくりと連携して行く必要があるので、地区の拠点があるならそれを結ぶような公共交通、あるいは地区内の公共交通について位置づけを整理したほうが良い。また、便ごとの人数や OD などからニーズにあっているのかどうかを整理したほうが良い。地域懇談会はそこでしか見えないところがあるのでしっかりやっていただきたい。

(委員) OD 調査については、高校生の動きが普段と違うので調査日を考えていただきたい。

→(事務局) 調査当日は高校の期末テストであったが、事務局として把握していなかった。今後は気をつけたい。